

# あおもり

県民  
だより

2014  
4  
月号  
No.144



## チャンス・チャレンジ・チェンジ

昨年12月の第276回定例会  
議会の指針となる新しい青  
森県基本計画『未来を変える挑  
戦』が議決された。(併せて、両輪  
となる『青森県行財政改革大綱』  
も青森県行財政改革推進本部に  
おいて決定された。)

ありきたりの言葉かも知れな  
いが、改めて、強い意志と高い志を  
持って、この新計画と大綱を着実に  
推進する決意である。

これまで、常に、本県財政の「破  
綻回避」を念頭に、愚直に行財政  
改革に腐心して来た。

また、その大改革の真っ只中にあ  
っても、本県の最大の課題である  
「暮らし」と「いのち」つまり、産業・  
雇用・経済と健康・医療・福祉、それ  
ぞれの元気づくりに進進して来た。

様々な支援制度等で、これまで  
青森県経済を支えて来た産業群  
を守ると同時に、販売を重視した  
攻めの農林水産業やその六次産業  
化、企業誘致や創業・起業支援、  
観光国際戦略等々、果敢な産業施  
策を展開してきた。

一方で、保健・医療・福祉サー  
ビスを一体的に提供する包括ケア  
システムの推進や良医を育むグラ  
ンドデザインによる医師の育成、  
健康づくり施策の数々で、いのち  
を守る仕組みづくりにも地道に努  
力を続けて来た。

有効求人倍率は、就任時に較べ  
倍以上に伸び、高校生の就職状況  
も改善し、また、県民の平均寿命  
も伸びましたが、さらに産業構造  
の強化は必要であり、短命県返上  
は急務となっている。

だからこそ、今を変え、未来を  
変える強い意志と高い志を、この  
新プランにおいて県民の皆様と共  
有したい。

自分は、粘り強く生真面目でこ  
つこつと仕事を成し遂げる青森人  
の県民性を「青森の正直」と国内  
外に訴え続けて来た。この「正直」  
力があればこそ、時間が掛かるう  
とも、どんな困難も乗り越えてゆ  
けると自分は確信している。

合言葉は、「チャンス」(強みを活  
かし、課題を伸びしろと捉え)、「チ  
ャレンジ」(挑戦し続けることで、  
可能性を拓き)、「チェンジ」(未来  
を県民力の結集で変えよう)。

そしてその、スタートは今である。

青森県知事 三村 申吾

青森県基本計画  
未来を変える挑戦  
～強みをとことん、課題をチャンスに～

### CONTENTS

目次

特集:青森県基本計画 未来を変える挑戦	1~5
県の行財政の改革	6
ちょっとした工夫で、健康ごはん! 地域みんなで安全・安心な 社会づくりに取り組もう!	7
青森県の新たな観光戦略について 平成26年度から職員採用試験が変わります! 工藤所長のソウルからアンニョンハセヨ~	8
あおもりインフォメーション	

編集発行/青森県広報広聴課  
平成26年4月1日発行(偶数月1日発行)

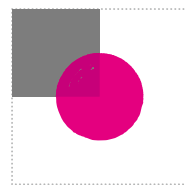
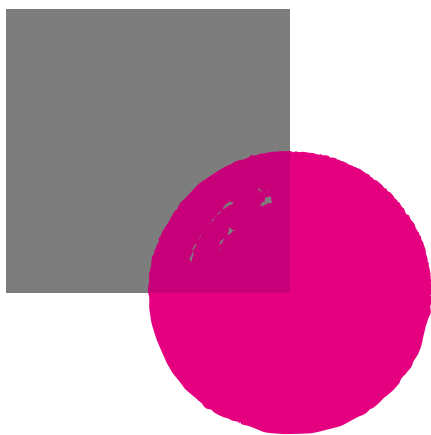
## 青森県基本計画

# 未来を変える挑戦

～ 強みをとことん、課題をチャンスに～

Aomori Prefectural Government Master Plan

Changing the Future of Aomori  
Breakthrough Innovation



これが「青森県基本計画 未来を変える挑戦」のシンボルマークです。左上のグレーの四角は、青森県の抱える課題も含めた様々な素材を、真ん中の赤い丸は、本県の強みや価値が結集した姿を表しています。グレーの四角を赤い丸に磨き上げていく、つまり強みや価値であふれる青森県に変えていくということが、計画の基本コンセプトである「強みをとことん、課題をチャンスに」を表現しています。

また、このコンセプトのもと、みんなの力でめざす姿に変えていくことを表現するために、赤い丸はフリーハンドで描いています。そして、このシンボルマークにはもう一つの顔があります。四角と丸以外の部分を見ると、青森県の姿が見えてきますが、中央の赤い丸が日本をイメージさせることから、日本の中の青森県、世界に価値を発信していく青森県となり、世界の中で、ジャパンブランドとともに「青森ブランド」を確立していく取組のシンボルとなるものです。

# 課題先進県から イノベーション先進県へ

「課題先進県」。まだ馴染みのない言葉かもしれませんが、大きな課題を抱えつつも、そのことが逆に成長の可能性を秘めているという本県の状況を表した言葉です。

本県は、他県よりも速いスピードで人口減少が進んでいるほか、平均寿命が短いことなど大きな課題を抱えていますが、そうした課題に全国に先駆けて直面し、対応していかなければならないということは、発想を転換すると、むしろ全国に先駆けてそうした課題を克服するチャンスに恵まれていると言えます。

そしてこれらの課題は、課題自体を成長のチャンスと捉え、前向きに取り組みでいくことで克服できると考えます。そのためには、既存のモノ、仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化をもたらす変革、言い換えると、課題解決を通して地域が成長していく課題解決型イノベーションを進めていくことが必要です。こうした課題解決型イノベーションを進めることにより、課題先進県である本県は、課題を克服する変革、イノベーションの先進県になっていくのです。

※イノベーション 既存のモノ、仕組みなどに対して、全く新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化をもたらす変革のことです。

### 青森県の強み

一方、本県には課題だけではなく、強みもたくさんあります。「攻めの農林水産業」を進めた結果、農商工連携や6次産業化、食産業の進展が見られ、「食の王国」青森県が形成されつつあるほか、保健・医療・福祉分野では医工連携による産業の芽生えがあり、また、豊かな自然を活用した環境・エネルギー分野では風力発電を始めとして産業創出の可能性が大きいといった強みもあります。

### 強みをとことん、課題をチャンスに

県ではこれまでも、県が重点的に進むべき方向性を定め、それを県民のみなさんと共有してともに歩んでいくための基本計画（「生活創造推進プラン（平成16～20年度）」、「青森県基本計画（平成16～20年度）」、「青森県基本計画（平成21～25年度）」）を策定して取り組んできました。その取組の成果である青森県の強みを更に伸ばしていくとともに、本県が抱える課題を克服していくために、いま新たに、平成26年度からスタートする「青森県基本計画 未来を変える挑戦」を策定しました。この計画では、「強みをとこ

### めざす姿

とん、課題をチャンスに」という基本コンセプトを掲げ、本県が持つ強みとことん伸ばすとともに、本県が抱える課題に対し、この先も変わらないというムードを払拭し、解決可能で伸びしろの大きい「成長のチャンス」と前向きに捉えることで、青森県の未来を県民自らの力で「めざす姿」に変えていくこととしています。

新しい計画では将来の青森県の「めざす姿」を、「青森県の生業と生活が生み出す価値が世界に貢献し広く認められている状態」、言い換えれば「世界が認める『青森ブランド』の確立し買ってもらい、訪れてよし、住んでよしの青森県」と掲げています。

県では、この「青森ブランド」を確立して、本県の未来をより良いものに変えていくために、部局・分野を横断して全庁一丸となつて取り組むこととしています。しかし、真の「青森ブランド」を確立していくためには、県民のみなさん一人ひとりが、青森県の魅力と価値を認め、チャレンジしていくことがその第一歩となるのです。青森県の未来を変える第一歩を一緒に踏み出しましょう。

# 未来を変える

～チャンス・チャレンジ・チェンジ～

「青森県基本計画 未来を変える挑戦」。青森県は今どういう状況にあり、どういう未来をめざすべきなのか、そしてそのためには何が必要なのか。県と県民のみならず一人ひとりが共通の想いを持って、ともに進んでいく方向性を定めるものとして、県では、これまでも基本計画を策定し、取り組んできました。

「生業(なりわい)」と「生活」。県民の経済的基盤を確立し、心の豊かさや、命・健康・環境などの暮らしやすさに支えられた豊かな生活を実現する、これこそがこれまで県が一貫してめざしてきた青森県の姿です。

平成16年に策定した「生活創造推進プラン」では「暮らしやすさではどこにも負けない地域づくり」を、平成20年に策定した「青森県基本計画 未来への挑戦」では「生業に裏打ちされた豊かな生活が実現している社会」をめざしてきましたが、今新たに策定した「青森県基本計画 未来を変える挑戦」では、これまでの理念を継承しつつ次の段階へステップアップした姿として、「青森県の『生



業」と『生活』が生み出す価値が世界に貢献し広く認められている状態」をめざす姿に掲げています。

## 「青森ブランド」の確立

基本計画では、計画期間の5年間で取組を進めるため、「産業・雇用」「安全・安心、健康」「環境」そして「教育、人づくり」の4つの分野を設定し、それぞれで青森県の「めざす姿」を挙げています。いずれも、青森県の様々な分野の「生業」と「生活」が生み出す価値が一体となって世界から評価され、県民自身もその価値を誇りに思い存分に享受している状態をめざすこととしています。

そして、これを国内外の人々の視点で簡潔に表現したものが、「世界が認める『青森ブランド』の確立」、言い換えると「買ってよし、訪れてよし、住んでよしの青森県」の実現です。「青森ブランド」とは、青森県産品のブランド化だけを指すのではなく、青森

県の自然・文化・生活などが有する価値や、青森県からイメージされる価値、輩出した人材の価値など、いろいろな価値が集まって形づくられるものです。

## 県の取組 3つの戦略プロジェクト

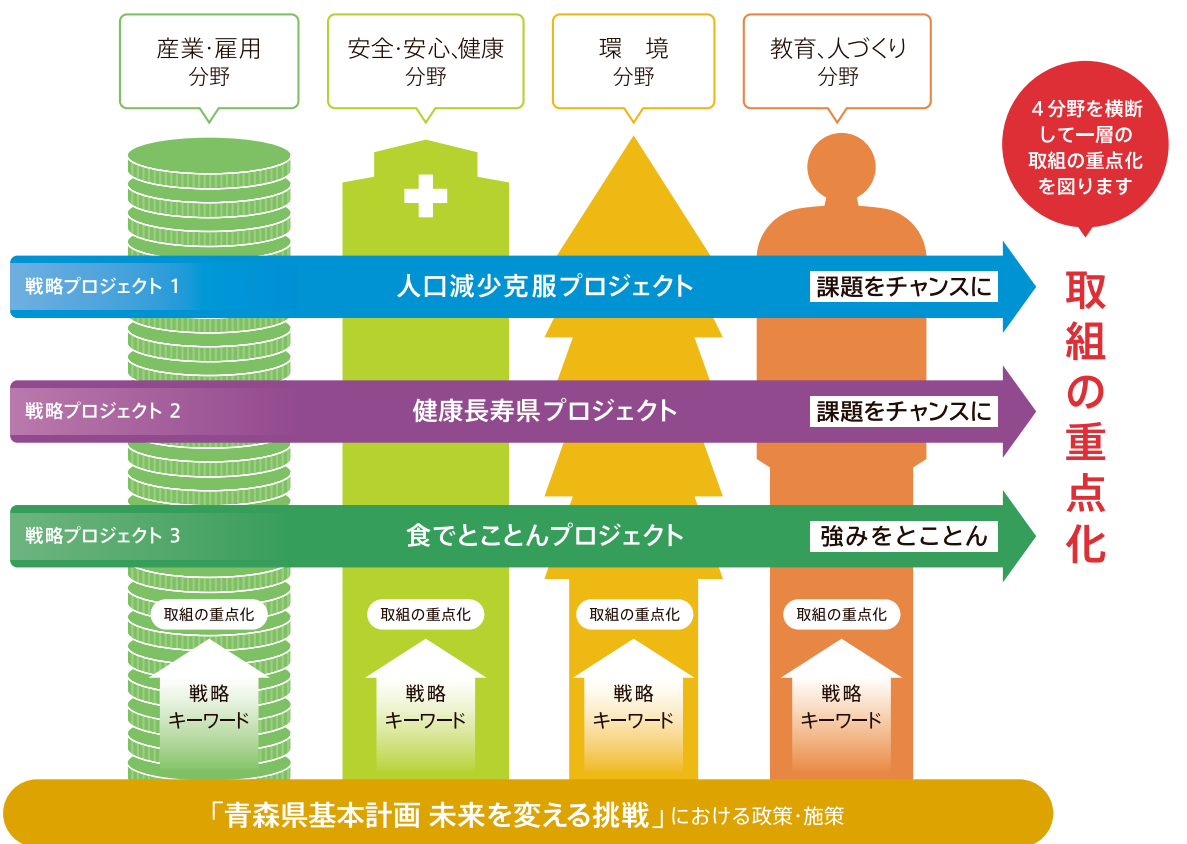
こうした青森県のめざす姿を実現するため、県では3つの戦略プロジェクトを立ち上げ、部局・分野を横断して全庁一丸となって取り組むこととしています。

1つめは「人口減少克服プロジェクト」。急激な人口減少に歯止めをかけ、持続可能な経済の維持や県民生活を守るため、子育て支援、若年層の県内定着に向けた雇用の創出・拡大、多様な地域の魅力を生かした観光・交流人口の拡大などに取り組めます。

2つめは「健康長寿県プロジェクト」。県民が健康で長生きすることの価値を認識し、生涯にわたって健康で活力ある生活を送ることができるよう、豊かな自然や環境を生かしながら、生活習慣の改善やスポーツを通じた健康づくりなどに取り組めます。

3つめは「食でとことんプロジェクト」。世界に通じる可能性を十分に有する本

青森県の「めざす姿」を実現するため、取組の重点化を図ります。そして、新たな挑戦、3つの戦略プロジェクトがスタートします。



## 3つの歩み～チャンス・チャレンジ・チェンジ～

青森県の未来をより良いものに変え、「めざす姿」を実現していくために、基本計

県の「食」について、産業・雇用分野でこれまで以上にその強みを生かして、外貨獲得を拡大させるとともに、その他の分野でも強みをとことん活用し、「食」といえば青森県」と言われるよう取組を進めます。

画では一つのスローガンを掲げています。それが3つの「C」、「チャンス・チャレンジ・チェンジ(Chance, Challenge, Change)」です。

この3つのCは、県の取組だけでは青森県の未来を変えていくことも、基本計画で掲げる「めざす姿」を実現することも難しいことですが、県民のみならず一人ひとりが青森県の魅力と価値に誇りを抱き、県と県民が一丸となって未来を変える第一歩を踏み出していくことで実現できると信じ、掲げたものです。



！平成26年度  
重点広報テーマ ※それぞれの月に集中的に広報するテーマです。

平成26年6月	「青森ブランド」
8月	戦略プロジェクト「健康長寿県プロジェクト」
10月	戦略プロジェクト「食でとことんプロジェクト」
12月	戦略プロジェクト「人口減少克服プロジェクト」
平成27年2月	地域県民局の取組

4月の「青森県基本計画  
未来を変える挑戦」関連番組 放送予定

放送局	番組名	放送時間
青森放送	LINK／青森県	4月1日(火)～15日(火) 30秒スポットを約10回
青森テレビ	みんなの県庁! 知事が出演	4月5日(土) 18:55～19:00
	こんにちは、県庁です。 県職員が生解説	4月7日(月)「おしゃべりハウス」 (10:00～10:55)内で放送
青森朝日放送	メッセージ 3回シリーズでお届け	4月5日(土)・12日(土)・ 19日(土) 9:30～9:35

問い合わせ先  
青森県基本計画 未来を変える挑戦：企画調整課 電話 017-734-9129  
青森県の広報：広報広聴課 電話 017-734-9137

**県の広報も変わります！**  
平成26年度は、1年間にわたって、この「県民だよりあおもり」の発行月である偶数月に、テレビなど様々なメディアを通じて、基本計画に関わる情報を集中的に広報します。  
これまで県の広報を目にする機会が少なかった方にも見ていただけるよう、広報番組を大幅に見直すなど、新たな広報体制をつくりました。ぜひご覧ください。

「青森県基本計画 未来を変える挑戦」は、県庁ホームページに全文を掲載しています。また、4月3日以降、順次、県合同庁舎に備え付けるほか、希望する方には概要版である「2014プロモーション編」を差し上げます。ぜひご覧ください。  
青森県基本計画 未来を変える挑戦  
Q 検索

# 未来を変える第一歩をとともに！ ～県民のみなさんと「めざす姿」を共有するために～

「青森県基本計画 未来を変える挑戦」は、スタートするこの基本計画を県民のみなさんにお伝えし、ともに未来を変える第一歩を踏み出すため、積極的に情報を発信します。  
「青森県基本計画 未来を変える挑戦」は、県庁ホームページに全文を掲載しています。また、4月3日以降、順次、県合同庁舎に備え付けるほか、希望する方には概要版である「2014プロモーション編」を差し上げます。ぜひご覧ください。

この4月にスタートする基本計画では、2030年の青森県のめざす姿、あるべき姿として、「世界が認める『青森ブランド』の確立」をあげています。「青森ブランド」というのは、商品や製品などモノのブランド化だけを指すものではありません。りんごやホタテなどの産品やそのイメージ、温泉や自然などさまざまな地域資源、県内外で活躍する「人財」が創り出す価値、これらを含めた総合的な価値が「青森ブランド」であるという考えです。例えば、スイスという国は高級時計のような精密機械が有名ですが、それだけでなく、世界的な観光地としても確立され、また、住んでいる人も自らの生活自体に誇りと満足感を感じているなど、まさに「スイス」そのものとして世界から

# 県民力を結集し、未来を変える！ 世界が認める「青森ブランド」に。



「青森朝日放送」土曜午前9時30分から放送の「メッセージ」を引き続きお届けします。(聴覚障害者向け字幕対応)  
また、日曜夜9時55分から放送していた「森の雫」は、曜日、放送時間、回数を変更し、「みんなの県庁」に変わります。知事出演の「申吾が行く」シリーズと、いろいろな職場を紹介するシリーズを隔月でお届けします。

「青森放送」青森県庁初のCM型番組「LINK(リンク)／青森県」が新しくスタート。30秒で納得、共感していただけるお知らせをお届けします。  
また、日曜午後5時から放送していた「活彩あおもり」は、放送回数を変更し、「大好き、青森県」に変わります。県内のいろいろな地域や人の魅力をお伝えします。(聴覚障害者向け字幕対応)

「買ってよし、訪れてよし、住んでよし」。県民一人ひとりが有している固有の力を結集させ、そんな青森県を一緒につくっていきましょう！

評価されている。こうした点で、めざす姿のイメージと重なる点があります。ただ、スイスはあくまでも例で、青森がスイスをめざすわけではなく、総合的に優れた価値を育む青森をめざすということ。ブランド、というものは継続して取り組むことが最も重要です。県民一人ひとりがそれぞれの立場で役割を果たすこと、そして、「青森をよくしよう」という思い、青森を愛する思いが重要です。何も格式張る必要はないのです。日常的に「青森のここがよい」と良さを認め、それを繰り返していく。これがエネルギーになるのではないのでしょうか。21世紀は、グローバルゼーション(国際化)、情報化、少子高齢化、地域の自立化といった4つのトレンドに象徴されるように、大きな曲がり角を迎えています。それは、青森県にとってはチャンスでもあります。ここで羽ばたけば、今の子どもたちにはよいメッセージとなる。青森の未来を変えるためには、県民一人ひとりが青森を愛し、決してあきらめずに継続的に取り組んでいくことです。「買ってよし、訪れてよし、住んでよし」。県民一人ひとりが有している固有の力を結集させ、そんな青森県を一緒につくっていきましょう！

評価されている。こうした点で、めざす姿のイメージと重なる点があります。ただ、スイスはあくまでも例で、青森がスイスをめざすわけではなく、総合的に優れた価値を育む青森をめざすということ。ブランド、というものは継続して取り組むことが最も重要です。県民一人ひとりがそれぞれの立場で役割を果たすこと、そして、「青森をよくしよう」という思い、青森を愛する思いが重要です。何も格式張る必要はないのです。日常的に「青森のここがよい」と良さを認め、それを繰り返していく。これがエネルギーになるのではないのでしょうか。21世紀は、グローバルゼーション(国際化)、情報化、少子高齢化、地域の自立化といった4つのトレンドに象徴されるように、大きな曲がり角を迎えています。それは、青森県にとってはチャンスでもあります。ここで羽ばたけば、今の子どもたちにはよいメッセージとなる。青森の未来を変えるためには、県民一人ひとりが青森を愛し、決してあきらめずに継続的に取り組んでいくことです。「買ってよし、訪れてよし、住んでよし」。県民一人ひとりが有している固有の力を結集させ、そんな青森県を一緒につくっていきましょう！

## 平成26年度 未来を変える挑戦 推進事業

476事業  
246.8億円

平成26年度から新たにスタートした「青森県基本計画 未来を変える挑戦」に掲げる青森県のめざす姿の実現に向け、限られた行財政資源を最大限に活用して着実に取組を進めていくため、平成26年度は「未来を変える挑戦推進事業」として戦略プロジェクト事業、戦略キーワード事業などにより、「取組の重点化」を図っています。

## 戦略プロジェクト 62事業 7.8億円

1. 人口減少克服プロジェクト	2. 健康長寿県プロジェクト	3. 食でとことんプロジェクト
<p>課題をチャンスに → 27事業 3.3億円</p> <p>(1)人口減少社会においても持続可能な地域をつくる【7事業、1.0億円】 農山漁村における地域の主体的な取組に対する支援、空き家の予防と利活用促進など、持続可能で元気な地域づくりを推進</p> <p>(2)人口増加につながる仕組みをつくる【8事業、1.1億円】 独身男女の出会いの場の創出など結婚支援、若年者の雇用の場の確保、県外からの人材誘致などを推進</p> <p>(3)交流人口を増やす仕組みをつくる【12事業、1.2億円】 本県の更なる魅力の発掘と磨き上げ、県民のおもてなしの向上、国内外への戦略的な情報発信、2年後に迫った北海道新幹線開業に向けた受入態勢の整備などを推進</p>	<p>課題をチャンスに → 19事業 2.6億円</p> <p>(1)地域を挙げて取り組む「健活」【12事業、1.2億円】 県民一人ひとりが「健やか力」を身に付けるための普及啓発、地域・職域への働きかけの推進、生活習慣の改善、子どもの肥満対策などを推進 ※「健活」…健康カイズ活動</p> <p>(2)自然環境や地域資源を生かした健康づくり【4事業、0.4億円】 白神山、奥入瀬渓流、小川原湖など本県の強みである豊かな自然環境を活用した健康づくり、運動に取り組む気運の醸成などを推進</p> <p>(3)地域の保健・医療・福祉をサポート【3事業、1.0億円】 若手医師の県内定着に向けた支援、予防を重視した包括ケアシステムの推進、ライフ分野関連産業の創出と集積などを推進</p>	<p>強みをとことん → 16事業 1.9億円</p> <p>(1)食の生産力・商品力を極める【5事業、0.3億円】 あおもり米新品種のブランド化、地域内連携を重視した6次産業化の取組への支援、地域特産品の維持拡大や生産性向上などを推進</p> <p>(2)食の販売力を極める【4事業、0.3億円】 物流関連企業との連携や青函連携による県産品の販路拡大、台湾や東南アジアへの県産品輸出などを推進</p> <p>(3)安全・安心で環境にやさしい食を極める【3事業、0.6億円】 土づくりや認証GAP取得への支援、県産食品のブランド化に向けた食品安全対策、りんごトレーサビリティの構築などを推進</p> <p>(4)食を支える人づくりを極める【4事業、0.7億円】 県内企業の商談力の強化、輸出に意欲的な農業者の育成、食品の中間加工業者への支援などを推進</p>

戦略プロジェクトは、「青森県基本計画 未来を変える挑戦」に掲げる「強みをとことん、課題をチャンスに」の基本コンセプトのもと、人口減少社会への対応や短命県であることなど、県政の最重要課題に対し、県一丸となって分野横断の連鎖展開を進めるものです。

## 戦略キーワード

359事業 234.6億円

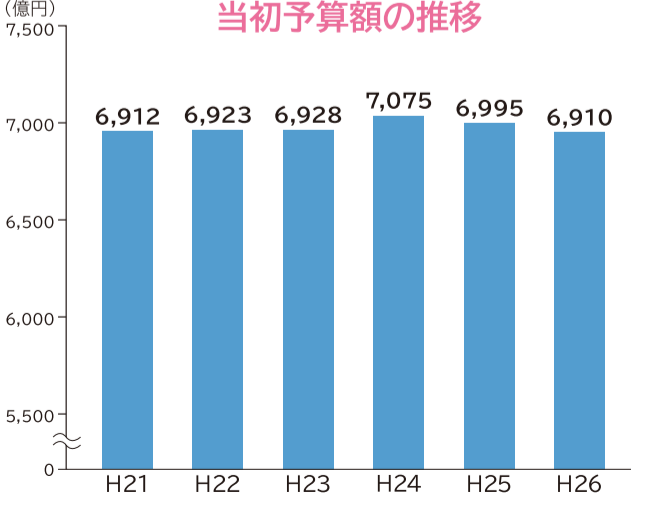
戦略キーワードは、青森県基本計画を推進するための4分野ごとの取組の方向性を示すもので、毎年度見直し、環境変化などに柔軟かつきめ細やかに対応していくものです。

- 産業・雇用分野【105.4億円】  
成長産業の創出・拡大と産業競争力強化による働く場づくり
- 安全・安心、健康分野【33.3億円】  
命と暮らしを守る環境づくり
- 環境分野【39.1億円】  
人と自然が共生した低炭素・循環型社会づくり
- 教育、人づくり分野【56.8億円】  
ふるさとに誇りを持ち、未来を切り拓く人づくり

その他 55事業 4.4億円  
地域別計画推進事業、地域の元氣支援事業など

## 平成26年度一般会計 当初予算は6,910億円

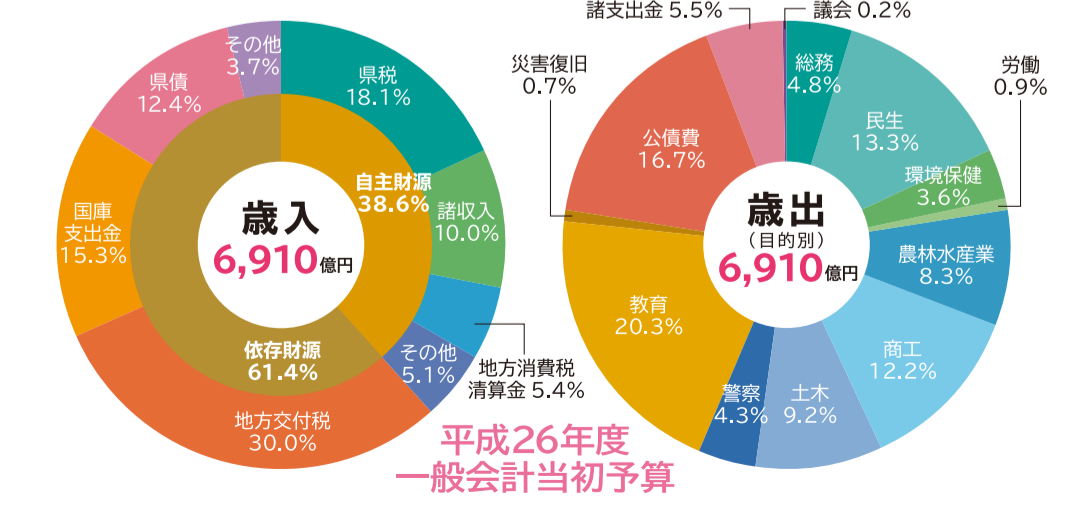
(対前年度比1.2%減)  
「青森県基本計画 未来を変える挑戦」と「青森県行財政改革大綱」を踏まえ、本県の新たな挑戦のスタートとして、財政健全化努力を継続しながらも、施策の重点化と部局間の更なる連携強化を図り、各種施策を積極果敢に展開することとしました。  
一般会計の当初予算額は、平成25年度の一時的経費である分取造林事業に係る損失補償費(130億円余)の減額により前年度を下回りましたが、その要素を除けば実質的なプラス予算となっています。



## 財政健全化に向けた取組

「青森県行財政改革大綱」などに基づいて、財源不足額(基金取崩額)の圧縮及び県債発行総額の抑制に努めました。

- 県の貯金である基金の取崩額は10億円(H25 6月補正予算後対比△10億円)となり、ほぼ実質的な収支均衡を達成
- 県の借金である県債の発行総額を大幅に抑制し、県債残高はH26年度末で1兆2,903億円となる見込み(H25年度末見込対比 △123億円)

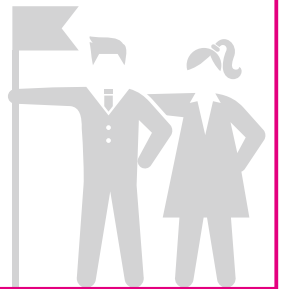


【用語の解説】

- 一般会計  
県の会計の中心となる会計。行政運営の基本的な経費全般。
- 地方交付税  
所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税の一定割合の額を、国が各地方公共団体に人口、面積、財政力などに応じて交付する税。使いみちは各団体が自由に決められる。
- 国庫支出金  
特定の事業を行うために国から交付される負担金、補助金及び委託金。
- 県債  
県の長期借入金。原則として、道路や学校などの公共施設の整備に必要な資金に充てられる。
- 公債費  
過去に借り入れた県債の元金の返済や利子の支払いなどの経費。

# 県の行財政の改革

しなやかで力強い県庁をめざし



行財政環境が引き続き厳しいことに加え、先行きへの不透明性を増す中で「青森県基本計画 未来を変える挑戦」に基づき施策を着実に進めていくためには、しなやかで力強い行財政運営体制をつくる必要があります。

このため、県では、昨年12月に行財政改革大綱を改定し、これまでの歩みをゆるめることなく行財政の改革に取り組むこととしました。新しい大綱では、めざす行財政の姿として、

- ① 柔軟かつ創造的な執行体制の確立
  - ② 地域との連携・協働の推進
  - ③ 次世代に向けて持続可能な財政基盤の確立
- を掲げるとともに、戦略的かつ着実に改革を進めるため、今後5年間の取組の基軸を次のとおり定めています。

## 1 業務戦略

業務の進め方の点検・改善や、その業務により得られた成果の検証の徹底など、適切な業務マネジメントを確立し、限られた行財政資源（職員や財源）で最大の効果を発揮できる業務運営体制づくりに取り組めます。

## 2 組織戦略

優秀な人材の確保や育成を進めるとともに、職員の能力を最大限に引き出す職場環境の整備に取り組みます。

また、地域県民局の機能向上などの組織の見直しや職員数の適正化に取り組めます。

## 3 協働戦略

県民の皆さんとの情報共有を図り、県行政への県民参画を推進するとともに、市町村や企業、団体など地域を構成する多様な主体との適切な役割分担のもとに連携・協働を進め、地域力の向上と地域全体としての公共サービスの最適化に取り組めます。

## 4 財政戦略

収支均衡型の財政運営に向け、歳出改革や財源確保の取組を継続しつつ、次世代の負担軽減にも配慮した財政健全化に取り組めます。また、優先度を踏まえた重点化や成果重視型の財政運営を徹底します。

行財政改革を着実に進めるためには、大綱に掲げた戦略軸に沿って計画的に取組を実施することが重要です。

このため、具体的な取組の内容や工程を実施計画にとりまとめ取り組むとともに、民間有識者等で構成する行財政改革推進委員会の意見等も踏まえ、毎年度その達成状況を点検し、必要な見直し等を行いながら、取組を進めていきます。

# ちょっとした工夫で、健康ごはん！

下ごしらえて  
栄養素を  
逃がさない！

## 野菜ごろごろカレー

野菜の「洗い方、切り方」によって、カラダに取り込む栄養素が変わることをご存知でしたか？旬のごぼうと彩り豊かな野菜の栄養がまるごとカレーに溶け込んだカラダにやさしいカレーです。

生産量日本一を誇る青森県産のごぼう 食物繊維が豊富に含まれることが知られている「ごぼう」。特にごぼうに含まれる食物繊維（イヌリン）は、糖質が腸から吸収されるスピードを遅くし、血糖値の上昇をゆるやかにしてくれる働きがあります。青森の野菜をもっと食べて、健やかな毎日を過ごしましょう。

### 洗う

◎ごぼうは、流水でこすり洗い  
ごぼうの皮の部分には、ごぼう特有の香りや旨味・栄養素などがたっぷり。包丁の背でこそげ取らず、流水の下でたわしで軽く汚れをとる事で十分です。

### 切る

◎素材の旨味を引き出す切り方  
皮の間に栄養素が詰まった大根、にんじんは、皮付きのまま乱切りに。玉ねぎは、繊維に対して直角にうす切りにすることで、野菜の旨味を逃さず、短時間で柔らかく煮込めます。

### ◎材料 ※材料は4人分です

- ごぼう…150g(斜め切りで水にさらす)
- 大根……………100g
- にんじん……………70g
- 玉ねぎ……………100g
- 豚すき切り肉……………100g
- プチトマト……………100g(ハタをとる)
- にんにく……………10g
- 生姜……………10g
- ごはん……………米2カップ分

### ◎調味料

- サラダ油……………大さじ1
- カレー粉……………大さじ1・1/2
- 水……………3カップ
- バター……………10g
- 塩……………小さじ1
- こしょう……………適量
- しょうゆ……………大さじ1・1/2
- 砂糖……………小さじ1
- 米粉……………大さじ2(大さじ2の水で溶く)
- ◎飾り用
- ごぼう……………50g
- 菜花……………50g
- 揚げ油……………適宜

### ◎調理法

- ① 鍋にサラダ油を熱し、みじん切りにんにく・生姜を加えて炒める。
- ② 香りがたったら、ごぼう・大根・にんじん・玉ねぎ・豚肉の順に入れ、炒める。
- ③ ②にカレー粉を加え、粉っぽさが無くなったら、水・バターを入れて煮込む。途中、アクを取り除いてから調味料を加え、沸騰したら中火にし、15分ほど煮込む。
- ④ 水溶き米粉を加えてとろみをつけ、2等分に切ったプチトマトを加える。
- ⑤ 菜花を2cm幅に切って塩ゆでに。ごぼうは、長さ15cmに切り、ピーラーで薄く引き、水にさらした後、素揚げに。
- ⑥ ⑤をカレーの上に飾ってできあがり。

### 1人分の栄養価

エネルギー…521kcal  
塩分……………2.5g  
食物繊維……………5.0g  
(食物繊維の現在の目標量  
19歳以上：男性19g以上・女性17g以上)

[今回のレシピの野菜摂取量：一人あたり160g]

## 「健やか力」アップ！ 一口メモ

青森県男性の野菜摂取量は1日あたり296gで全国23位、女性は292gで14位。1位の長野県と比べると男性は1日あたり83g、女性は73g少なくなっています。(野菜摂取量は、厚生労働省「平成24年国民健康・栄養調査」より)

目標は1日あたり **野菜+100g** 目安 1/2本

※「健やか力」とは、県民が主体的に健康づくりに向けた活動を実践していく力のことを表現します。

# 地域みんなで 安全・安心な社会づくりに取り組もう!

犯罪のない安全で安心な社会は、私たちが生活していく上での基盤であり、その実現は県民みんなの願いです。新生活がスタートする春先は、犯罪や声かけ事案などの発生が増加する傾向にある時期です。

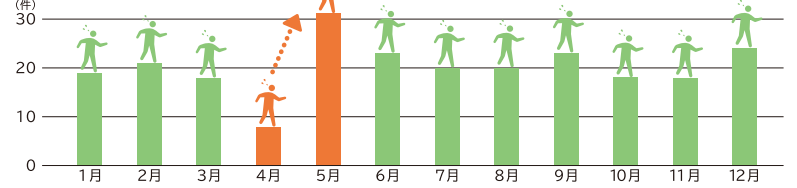


## 安全・安心まちづくり旬間 4月21日～30日

～新入学児童を犯罪などから守りましょう～  
犯罪のない青森県を目指して、各地区で啓発のためのイベントなどを開催しています。

平成26年度  
春の安全・安心まちづくり推進大会  
日時：平成26年4月22日(火) 14:00～  
会場：青森観光物産館アスパムイベントホール

平成25年声かけ事案発生件数(県内243件)



4月から5月にかけて、声かけ事案が増える傾向にあります。

子どもの登下校の時間帯は、買い物や犬の散歩などを行いながら、それとなく様子を見守るようにしましょう。

また、緊急避難場所“子ども110の家”“子ども110番の車”は、子どもが被害にあいそうな場合、またはあった場合、一時的に保護する場所で、不審者情報の警察への通報など、犯罪の未然防止にも協力しています。ご近所の“子ども110番の家”なども確認してみましょう。(“子ども110番の家”“子ども110番の車”にはステッカーやポスターが貼られています。)

安全・安心まちづくりのページ [青森県安全・安心まちづくり](#)  県民生活文化課 ☎017-734-9232

## 青森県の新たな観光戦略について

青森県観光国際戦略推進本部では、今後5年間の本県観光の振興策を「未来へのあおもり観光戦略セカンドステージ」としてまとめました。



新しい戦略では、本県観光が目指す姿として「国内外から選ばれる観光地になること」、「観光客の誰もが本県観光に満足すること」、「観光産業の競争力が高まること」を掲げ、観光消費額や宿泊者数などの具体的な数値目標を設定し、目標実現への取組を推進していきます。

平成27年度末の北海道新幹線開業や海外からの観光需要の拡大などは、本県観光にとって大きなチャンスです。国内外の多くの方が本県を選び、訪れ、満足し、また、地域経済が潤うよう、皆さんが共通の目標を持って、観光振

興に向けてそれぞれの役割を果たしていくことが大切です。

近年、県民の皆さんが地域の暮らしや生活文化などへの関心を深め、観光の担い手として活躍するなど「観光地域づくり」に積極的に取り組む地域が増えていきます。

地域を愛し、誇りをもって暮らしているからこそ、多くの人が訪れたいくなります。心地よい地域づくりを進めることは観光客へのアピールになり、交流のさらなる拡大へとつながります。県民みんなで「住んでよし、訪れてよし」の「観

光地域づくり」に取り組み、おもてなしの心で観光客を迎えましょう。



青森県観光国際戦略推進本部ホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/kanko/kankosenryaku.html>  
観光企画課 ☎017-734-9385

## 平成26年度から職員採用試験が変わります!!

～多くの方々に受験していただける試験へ～



人口減少と少子化・高齢化の急速な進行、グローバル化の進展などの社会経済情勢の変化や課題を的確にとらえることができ、さらに、青森県を愛し、県民の幸せのために行動できる、チャレンジ精神、そして熱い想いを持った人材を求め、より人物面を重視した試験とします。

### 職員採用試験の変更点

- ポイント1  
教養試験の出題分野を減らします。(大卒・短大卒程度)
- ポイント2  
専門試験の出題数・出題分野を減らします。(大卒程度「行政」「警察行政」)
- ポイント3  
面接試験を変更します。(全試験共通)  
◎集団討論に代え、グループワークを実施します。

◎個別面接を2回実施します。

- ポイント4  
「薬学」「保健師」の第1次試験を変更します。
- ◎教養試験は行いません。
- ◎専門試験は論述式とします。
- ポイント5  
大卒程度の試験職種に「福祉」を新設します。

### 平成26年度青森県職員採用試験のお知らせ

各採用試験の日程や実施内容などの情報を掲載したパンフレット『平成26年度青森県職員採用総合案内』を作成しました。パンフレットは県庁正面受付などで配布しているほか、ホームページでもご覧いただけます。また、返信用封筒を同封して郵送で請求した方には、郵送もいたします。

### 平成26年度各採用試験の第1次試験の日程

- ◎職員採用試験(大卒程度・社会人枠)  
6月22日(日)
- ◎職員採用試験(短大卒程度・高卒程度)  
9月28日(日)

詳しくは  
県庁HP [青森県職員採用](#)   
人事委員会事務局  
☎017-734-9829

なお、警察官採用試験については  
青森県警察本部警務課人事・採用係  
☎017-723-4211(内線 2664～2666)  
☎0120-337-314 へお問合せください。

[青森県警察](#) [警察官](#) [募集案内](#)



北東北3県・北海道ソウル事務所

# 工藤所長の

# ソウルからアンニョンハセヨ〜

皆さん、アンニョンハセヨ(こんにちは)! 4月、春です。去年の4月、私が韓国に来て10日位経ったころ、ソウルからKTX(高速鉄道)で約2時間の慶州(キョンジュ)で国際観光博覧会があり、北東北・北海道の観光PRのため行って来ました。

慶州は、高句麗(コグリョ)と百済(ペクチェ)を滅亡させ7世紀に韓半島を統一し、992年間続いた新羅(シルラ)の都です。町中が博物館と言われるほど、世界遺産をはじめとする文化財が数多く

あり、全国から観光客が訪れますが、春には町全体が桜色に染まる桜の名所として有名です。私が行ったときは、湖畔に沿った約2万本の桜の道を通る慶州桜マラソン大会が行われており、日本からも多数参加していました。

さて、ソウルでの桜の名所と言えば、漢江(ハンガン)の中州である汝矣島(ヨイド)です。汝矣島は国会議事堂やテレビ局・証券会社などが集まる政治・ビジネスの中心地ですが、春になると桜をはじめ、ツツジ、レンギョウなどの花々が咲き誇るソウル随一のお花見スポットとなります。韓国でのお花見は日本とちょっと違います。日本ではお弁当を持参したり、桜の木の下での宴会がよく行わ

れますが、韓国では、食べ物の屋台はありますが、家族連れやカップルで桜並木を散策し、写真に収めるのが一般的です。

春は色鮮やかなソウルを楽しむことができます。お花の名所はまだありますので、今年の春はソウルでお花見なんていかがですか。それでは皆さん、次回までアンニョヒケセヨ(お元気で)!



4月上旬の慶州マラソン大会



4月中旬の汝矣島の桜並木



## 青森・ソウル線でソウルへ、世界へ!

水・金・日 週3便運航中

3月30日から、発着時間が変わります。

KE768 青森 13:25 → 仁川 16:00

KE767 仁川 10:10 → 青森 12:30

国土交通政策課 ☎017-734-9153

## INFORMATION

あおもりインフォメーション

### 山火事にご注意を! 〜守りたい 森の輝き 防火の心〜

4月10日から6月10日までは「山火事防止運動強調期間」です。

春は、野山が乾燥して山火事が発生しやすい季節です。県内では、4月から5月にかけて山火事が多く発生しており、その原因の多くは、タバコやたき火の不始末によるものです。山火事はいったん発生すると、一瞬にして大切な森林を失うだけでなく、その回復には長い時間が必要とされます。

これから、農作業や森林レクリエーションなど山林周辺で火を扱う機会が多くなることから、私たち一人ひとりが注意して山火事を防ぎ、大切な森林を未来に引き継ぎましょう。

林政課 ☎017-734-9513



### 青森県消費生活センター 各相談室集約のお知らせ

県消費生活センターの更なる機能強化を図るため、平成26年4月1日から各相談室を集約(弘前、八戸及びむつ相談室を廃止)しました。

なお、消費生活相談は、お住まいの市町村窓口又は県消費生活センターで受付しています。

■消費者ホットライン ☎0570-064-370

お住まいの市町村消費生活相談窓口につながります。

■青森県消費生活センター ☎017-722-3343

詳しくは県庁HP [消費生活](#) [Q検索](#) 県民生活文化課 ☎017-734-9206



### 消防団活動に参加しませんか

消防団は、地域に「住む」人、または「働く」人たちで構成され、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考えのもと、災害時には消火、避難誘導などを行い、普段は防火の呼びかけなどの活動をしています。

しかし、県内の消防団員は年々減少しており、多くの市町村で団員が不足しています。愛する自分の地元を守るため、あなたも消防団に参加しませんか。18歳以上の健康な方であれば、入団することができ、大学生や女性の消防団員も活躍しています。詳しくは、市町村役場または、最寄りの消防署までお問い合わせください。

防災消防課 ☎017-734-9087



### 特定不妊治療費助成事業の 制度改正について

体外受精や顕微授精などの特定不妊治療にかかる費用の一部助成制度について、平成26年度から新たに助成を受ける方のうち、40歳未満の方について、助成回数等が改正されます。

	従 来	改正後(40歳未満)
年間助成回数	2回(初年度3回)	制限なし
通算助成回数	通算10回	通算6回
通算助成期間	通算5年	制限なし

詳しくは [青森県 特定不妊](#) [Q検索](#) こどもみらい課 ☎017-734-9303



みなさんと県庁を結び  
県政  
インフォ  
メーション

#### テレビ

- RAB「LINK/青森県」(30秒スポット)
- RAB「大好き。青森県」(第三日曜日)17:00~17:15 (放送週が変更になることがあります)
- ATV「こんにちは、県庁です。」(月)10:00~10:55
- ATV「みんなの県庁!」(第一土曜日)18:55~19:00
- ABA「メッセージ」(土)9:30~9:35

#### ラジオ

- RAB「青森県広報タイム」(月)~(木)7:30~7:35
- エフエム青森「あおもり・ふぁん」(月)~(金)16:55~17:00
- エフエム青森「申吾のほっとチャンネル」第一日曜日7:00~7:30

#### 新聞

- 「広報あおもりけん」毎月1日・16日 東奥日報・デューリー東北・陸奥新報

#### メールマガジン

- 「メルマガあおもり」毎週金曜日配信 [メルマガあおもり](#) [Q検索](#)

編集発行/青森県広報広聴課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 ☎017-734-9137 県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/> ※「県民だよりあおもり」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。

この印刷物は527,000部作成し、印刷経費は1部当たり8.2円です。

県民だよりあおもりの印刷に係る電力2,964kwhは、県内の住宅用太陽光発電で発電されたグリーンな環境価値を活用し、グリーン化されています。詳しくは県 HP [グリーン電力証書](#) [Q検索](#)